

当日のマダコ仕掛け

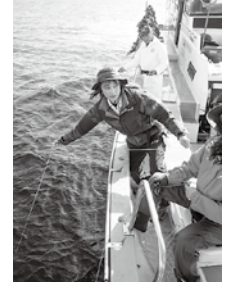
このたびは仲乗りの北川さんがタモを持ってダッシュし網袋とオケを届けるのだが、同時にマダコが乗って間に合わないときは石井船長が操舵室から駆けつける。

私はそれに合わせて写真を撮らせていただき、ときにコメントを聞いてメモするのだが、この日の朝ほど慌ただしいのは過去数回もない。

北川さんと2人、船上を徒競走のように（安全に配慮しながら）駆けては戻る、を繰り返して、メモを見れば8時の時点で船中30杯を超えていて、3分の2の人がマダコを手に入れている。

いやはや、うれしい誤算。これなら誌面も、今年のマダコ釣りも先行きが明るい。

▼乗ってる？ 乗ってるかな？  
なにかと三石忍に質問する上野恵子。本来はこの調子でマダコを上げる



事象といえばもう一つ、マ

調なわけではないか。思わず期待してしまう事象だった。

この時点で三石忍も私もいたって楽観的だった。南西の強風だからミヨシは揺れが大きく釣りにくいものの、いざ釣れると信じていた。

忍の背後、左ミヨシの方も泰然自若としていて、私と知床半島の動物撮影や北海道道1リングの話しながら（つまり世間話に付き合っていた）だきました。釣れないねえと笑っている。

そして三石忍である。彼女が手も足も出なくなる釣りは、手釣りのマダコぐらい。同じく左ミヨシの方も釣れず。つまり四隅のうち前2席が釣れなかった。誤解なきように記すけれど、ミヨシが好調な日は多々ある。

そんなこんな悲喜こもごもの解禁日は、強風のため1時間早く11時に沖揚がり。それでも船中69杯、2隻合わせると111

さを増している。僚船は南沖の実績ポイントを取りサチするために走っていく。

この後、風裏になる場所を探っていくのだが、これが見事にはまった。

●船宿information  
内房富津港  
**川崎丸**  
☎0439-87-2902  
(詳細は巻末の情報欄参照)  
▶料金=マダコ乗合一人1万500円  
(エサ付き貸しテナヤ・貸し漁糸・タコを入れるネット・ハンドタオル・マダコ料理レシピ・氷付き)  
▶備考=女性・中学生以下7500円。予約乗合。ほかマコチ乗合へも出船



杯の好結果だ。注目すべき、というか、私が素敵だと思ふのは、その釣果が一握りの上級者によってもたらされたものではない、ということだ。

よく考えてほしい。初めての人でも夢を抱けて、大ベテランや名人でも釣れないかもしれない釣りが今、どれだけ残されているだろうか。その意味を心から理解できているのは、この日オデコでも笑って帰ることができた人たち。心から、お疲れ様でしたとお伝えしたい。



▲解禁日の1投目は今年も第二海堡から。さあ、釣れるのか！

旬の沖釣りをエンジョイ!

今がチャンス!  
これから楽しみ!

釣りどきレポート

Best Season Report

新緑眩しい5月中旬、風薫る季節とはまさに今。例年どおり注目のマダコ釣りが富津から開幕。夏に向けて安定し大型も望める浅場の根魚、気まぐれな初夏の使者との夜遊びをお届けします。

好調開幕手釣りのマダコ釣りが素敵だと思ふ理由

内房富津港 ↓ 富津沖 本誌発行人 沖藤武彦 Takeda Hiroshi

謎である。わずか1メートル、いや、海中では50センチも仕掛けが離れていないかもしれないのに、片やマダコ含め5杯も6杯も釣れて、片や何も釣れない。

第二海堡で徒競走?

富津のマダコ釣りは例年、大型連休の始まりとともに解禁する。今年も4月29日の土曜日。富津港の川崎丸では今年も予約受付開始早々に定数に達し、当日は55人が2隻に分乗、ていねいなレクチャーの後に出船した。

年前の大規模改修以来、解禁のころは今イチ数が釣れない印象を持っていたのだが、今年はずっと様子が違った。

これはバレーしてしまった

これはバレーしてしまったものの、すぐに左胴の間、右胴の間で合わせ、たぐり、バラシが続く、ついに船中1杯目が上がった。

知得! Tips and Tricks  
おいしいマダコを手にするために必要なことは?

手釣りのマダコはだれにでもチャンスがあるし、オデコのリスクもある。ある意味これほど公平な釣りも珍しいのだが、1杯は持ち帰りたい。そのための条件をあげてみよう。

- ①出船前のレクチャーを聞いておく(何回やっていても基本の一部を忘れてるもの)
- ②席にこだわりすぎない(胴の間で当たりが出る)
- ③それでも釣れなかった場合は沖揚がり時に「おみやげ」マダコチケットを受け取り、交換する(川崎丸の場合)。

▲三石忍だっ「おみやげ」券を配られるのだ